

みついい便い 第12号



玉野三井病院 岡山県玉野市玉3-2-1

TEL : 0863-31-4187 FAX : 0863-23-2084

URL : <http://www.harenet.ne.jp/tamano-mitsui-hp/>

E-mail : mitsuihp@mes.co.jp

発行平成17年2月1日

内視鏡下手術について思うこと

副院長
みやけ みきお
三宅 三喜男

昨今、内視鏡下手術が盛んに行われるようになり、マスコミでもよくとりあげられています。また、それに伴いこの手術によるトラブルも増加しており、問題がおこるたびに紙面に大きく報道されています。当院でも内視鏡下手術をたびたび行っておりますが、日頃からこの手術について思っていることやこの手術の現状について少しお話しします。

内視鏡下手術が欧米で1980年末に始められ、わが国に1990年に導入されてからほぼ15年が経過しています。それ以前にも婦人科の一部では腹腔鏡を利用して手術が行われていましたが、手術野をテレビ画面上に映し出してこれを見ながら行う内視鏡下手術は、それ以前の内視鏡を使う手術や外科手術とは本質的に異なるもので、近代外科手術学にとっても革命的な出来事といっても過言ではありません。

当初胆嚢摘出術に始まった内視鏡下手術は、まず消化器外科において急速に普及し、続いて胸部外科、特に呼吸器外科、さらに婦人科や泌尿器科へと広がっていき、最近では小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、脳外科などほとんどの外科系領域において内視鏡下手術が取り入れられています。また当初は良性疾患がその主たる適応とされていましたが、次第に早期癌を中心に悪性疾患もその適応に含まれるようになってきました。現在、手術器具の急速な開発や改良に伴い、様々な内視鏡下手術が可能になりつつあります。

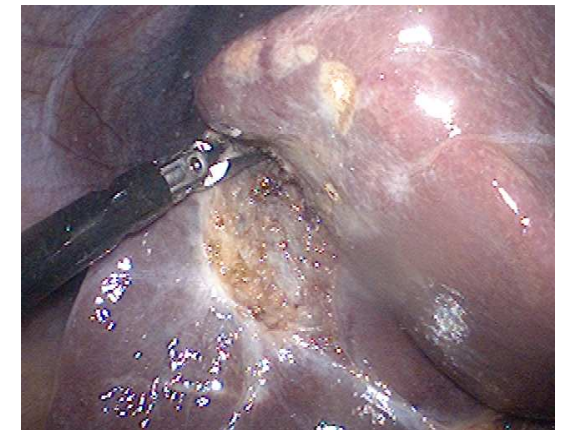


腹腔鏡下胆のう摘出術
胆のう摘出前

内視鏡下手術が急速に広まった理由を考えると、第一に患者さんの術後疼痛が少なく、早期離床、早期退院が期待できるということでしょう。次に、新分野に対する外科医の熱意や宣伝効果が、手術を急速に広めたように思えます。幸か不幸か日本では、時期を同じくしてテレビゲーム世代が第一線の医師となり、広範な内視鏡下手術の技術的側面を支えているように思えます。いずれにしても、術後の軽快さが患者さんの評判になったことは決定的でした。私も内視鏡下胆嚢摘出術を初めて経験した時には、その効果に大変驚いたことを昨日のように覚えています。美容的にも創部の小ささは、従来の手術と較べようありません。

しかし、この手術には欠点もあることを十分に理解しなければなりません。それは、内視鏡を使用するために術視野が狭くなり、操作範囲に限界が生じることです。そのため広範でダイナミックな操作が必要な手術や、視野の展開が出来ないような状況では手術が困難となります。この欠点を改善するために様々な手術法や器具が今後開発されるでしょうが、どの時点であっても、内視鏡下手術が可能かどうかを判断する際に一番大切なことは、いうまでもなく安全で確実な手術が出来るかどうかということです。さらに他の治療方法よりも客観的に優れた成績を示すことが望めます。この目的が達成出来ないと判断された場合には、内視鏡下手術の途中からでもより確実な手術法に引き返す勇気が外科医にはどうしても必要であります。手術ではそうした望ましくない状況がありうることを、手術前に患者さんや家族の方々によく理解していただくことも必要であります。最近、内視鏡下手術でのトラブルをテレビや新聞で見るたびに、そのようにつくづく思います。

当院でも胆嚢摘出術、気胸のブラ切除術など内視鏡下手術を多数行っていますが、患者さんや家族の方々にその手術の利点、欠点を十分に説明し御理解していただくように努めています。



腹腔鏡下胆のう摘出術
胆のう摘出後

患者様の権利について

私たちは患者様の権利を尊重し、信頼関係を築き患者様中心のあたたかい医療の実践に努めます。

1. 患者様の意思を尊重し満足される医療を提供いたします。
2. 治療の説明を受け、選択や拒否ができるように致します。
3. プライバシーを尊重いたします。

病院理念

- 1 21世紀における最も大切な人間の生活の質を向上させる医療を分担する。
- 2 患者様に優しい医療、インフォームドコンセントを重視した医療を提供する。
- 3 全職員が医療人としての使命感と誇りを持った医療を心掛ける。

この冬、南病棟から

南(療養)病棟2度目の冬を無事迎えることができました。これも皆様方の温かい御支援の賜物と感謝いたしております。南病棟では日常のレクリエーションの他に季節の行事を開催させていただいております。その行事や病棟の様子を少し御紹介させていただきます。

冬といえばやはりクリスマス。昨年に続き第2回目になりますクリスマス会を12月24日に開催いたしました。病棟職員一同、多忙な合間をぬって準備を重ね患者様に楽しんでいただけるよう練習を重ね、プレゼントを用意し当日に備えました。娯楽室に出られない患者様には当院医師扮するサンタクロースがベッドサイドに訪問しプレゼントを手渡しました。



又この冬は南病棟だけでなく病院全体の行事としてヴァイオリン・コンサートを開催いたしました。12月25日と12月28日の両日ボランティアで演奏をいただきましたのは玉野出身の由良浩明様、小野文子様のお二人です。素晴らしい名演奏で、職員も感激いたしました。年が明けて平成17年1月6日には、昨年12月29日に100歳を迎えられた当病棟入院患者様が、岡山県・玉野市・社会福祉協議会等からの祝賀を、南病棟面会コーナーにて受けられました。



新年会は1月13日に開催致しました。独楽や凧等遊具を懐かしんだり、お汁粉を頂いたり、琴の演奏を楽しんだりの一時を過ごしました。南病棟では今後も様々な行事を開催して参ります。療養されておられる方々にお楽しみ頂くため今後も努力して参ります。皆様の続きましての御支援よろしく御願い申し上げます。尚、南(療養)病棟への入院の御申し込み、御問い合わせ等ございましたら、南病棟相談室まで遠慮なくお尋ねください。御来室もお待ち申し上げます。御連絡お待ちしております。

いびきは身体の危険信号!?

グオーグオーという大きないびきの音。突然に止まるいびきと苦悶の表情。睡眠時無呼吸症候群は高血圧や糖尿病、狭心症や心筋梗塞、脳出血や脳梗塞などの恐ろしい病気に発展する恐れがあります。あるいは眠気や注意力不足から、交通事故や労働災害を引き起こすかもしれません。睡眠時無呼吸症候群は原因別におおまかに二つの型に分けられます。ほとんどの方は閉塞性睡眠時無呼吸症候群といわれる型に属します。これは鼻や喉の奥の閉塞により起こります。

内科医長
みもと じゅんこ
見元 淳子
臨床検査技師
たかつ しょうご
高津 昌吾

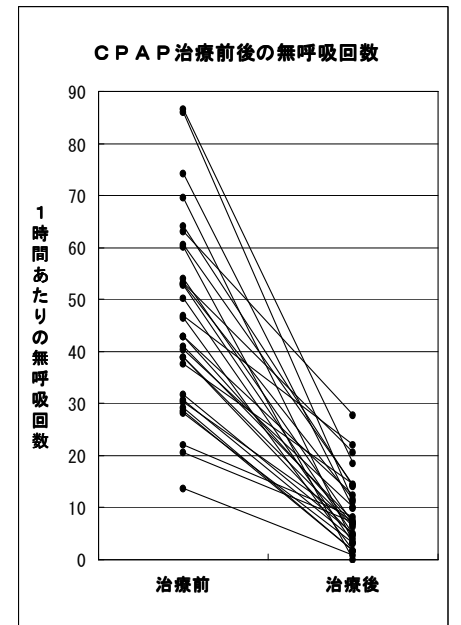


睡眠時無呼吸症候群は次のような影響をもたらします。1. 身体面への影響 2. 社会生活面への影響です。身体面への影響とは、無呼吸による酸素不足がもたらすいわゆるドロドロ血や高血圧などに始まり、冒頭の心筋梗塞や脳梗塞があげられます。社会生活面への影響とは、無呼吸による睡眠不足から日中に眠気に襲われ、居眠りや注意力・集中力の低下、仕事でのミス(会議中の居眠りも)や車の運転中の事故など、社会生活を営む上でいろいろと不都合が起きてきます。

どのような検査をすればわかるのでしょうか。自宅で簡単に検査できる簡易測定機器による睡眠ポリグラフ検査と、一泊入院し詳細に検査する終夜睡眠ポリグラフ検査があります。治療方法はあるのでしょうか。おおまかに次の4つがあげられます。1. 生活習慣の改善 2. 経鼻的陽圧呼吸療法(CPAP) 3. 口腔内装具(マウスピース) 4. 外科的切除 など。

玉野三井病院では、平成13年9月より睡眠時無呼吸症候群に関する検査を開始し、これまでに109名(のべ194名)の方が検査を受けられました。簡易型装置による検査をのべ96名の方に実施し、何らかの異常があった方や他院からの紹介で精密検査をされた方はのべ98名いらっしゃいます。

1時間あたりの無呼吸回数		
	治療前	治療後
1	86.6	18.6
2	86.0	11.2
3	74.3	9.8
4	69.7	3.3
5	64.1	14.1
6	63.0	27.8
7	60.6	14.4
8	60.1	0.0
9	54.1	7.0
10	53.1	20.6
11	52.9	11.6
12	52.7	4.9
13	50.2	3.1
14	46.9	22.1
15	46.5	1.7
16	42.8	12.5
17	42.8	6.8
18	41.0	7.6
19	40.3	10.0
20	39.0	6.4
21	39.0	4.7
22	37.7	14.5
23	31.7	5.1
24	30.8	3.9
25	30.2	7.2
26	29.2	1.6
27	28.7	1.6
28	28.1	3.2
29	22.0	8.1
30	20.6	7.1
31	13.6	0.8



このうち上記のCPAPによる治療のための検査を受けられた方はのべ41名であり、現在継続治療中の方は21名(うち1名は口腔内装具を使用)となっています。CPAPによる治療効果をグラフにしました。最も多い方で1時間あたり86回も無呼吸があった方が、CPAPの使用により18回にまで下がりました。中には60回程度息が止まっていた方が、CPAPの使用により全然息が止まらなくなりました。

睡眠時無呼吸症候群は病気ですが治らない病気ではありません。きちんと治療をすれば健康な方と何ら変わらない状態となります。大切なのは現在のご自分の状態をきちんと把握し、必要があれば病院を受診し適切な診断と治療を受けることです。必要なはずの睡眠が、この病気のおかげで毒になってしまう。こんな馬鹿な話はありません。いびきのひどい方、日中に眠くてたまらない方、ぜひ一度医師にご相談ください。

すやすやと眠れる夜と爽快な目覚めの朝を迎えるため、一度この病気についてご家族の皆さんで考えてみてください。なお、病院には睡眠時無呼吸症候群に関するパンフレットも用意しておりますので、お気軽にお立ちの上ご利用、ご相談下さい。